

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長  
(公印省略)

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。



連絡先 福井県農業試験場病害虫防除室  
TEL 0776-54-5100  
FAX 0776-54-6403  
E-mail byogaichu-boujo@fklab.  
fukui.fukui.jp



福井県病害虫防除室 🔍 検索

令和5年農作物病害虫発生予察予報第8号

10月の気象概況

天気は数日の周期で変わってでしょう。気温は、高い確率50%です。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予報内容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
キャベツ ハクサイ	べと病	最盛期： 11月中旬	少発	平年：並み 前年：並み	1)被害葉を除去する。 2)薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。また、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。 3)肥料切れをさせない。
ハクサイ	白斑病	最盛期： 11月中旬	少発	平年：やや少 前年：並み	1)被害葉を除去する。 2) 薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3)肥料切れさせない。
ダイコン ハクサイ キャベツ レタス	軟腐病		少発 (局中発)	平年：並み 前年：やや多	1)食痕性害虫を防除する。 2)強風後もしくは降雨や高温(25℃以上)が続く場合は発病の恐れがあるので、薬剤防除を行う。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。 4)明渠の設置等、排水対策を徹底する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キャベツ	黒腐病		少発 (局中発)	平年：並み 前年：やや少	1)食痕性害虫を防除する。 2)降雨や高温(20℃以上)が続く場合は発病の恐れがあるため、薬剤防除を行う。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
ダイコン	モザイク病		少発	平年：やや少 前年：並み	1)アブラムシ類を防除する。
ニンジン	黒葉枯病	最盛期： 11月中旬	少発	平年：並み 前年：並み	1)肥料切れさせない。 2)予防散布に努める。
ネギ	さび病		少発	平年：並み 前年：並み	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
	黒斑病		少発	平年：並み 前年：やや多	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)被害株を適切に処分し、初発の防除を重点的に行う。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
全般	ヨトウムシ類 (ハスモンヨトウ除く)		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)対象作物により薬剤が異なる。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハスモンヨトウ	加害盛期： 10月中旬	中発	平年：多 前年：多	
アブラナ科野菜	コナガ	加害盛期： 10月中旬	少発 (局中発)	平年：やや多 前年：多	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	モンシロチョウ(アオムシ)		少発	平年：やや多 前年：多	
	タマナギンウワバ	加害盛期： 10月中旬	少発	平年：並み 前年：多	
	キスジノミハムシ	加害盛期： 10月上旬	少発 (局中発)	平年：やや少 前年：少	
ハウレンソウ (施設)	シロオビノメイガ	加害盛期： 10月下旬	少発	平年：並み 前年：並み	

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナス キュウリ ホウレン ソウ (施設)	アザミウ マ類		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)寄主範囲が広いので注意する。
トマト キュウリ (施設)	タバココ ナジラミ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	1)タバココナジラミは黄化葉巻病を媒介するので特に注意する。
	オンシツ コナジラ ミ		少発 (局中発)	平年：やや多 前年：やや多	2)葉裏に、また、下葉に十分にかかるように農薬を丁寧に散布する。
トマト ナス (施設)	オオタバ コガ		中発	平年：多 前年：多	1)果実に食入するため若齢幼虫期に防除を徹底する。
トマト (施設)	ミカンキ イロアザ ミウマ		少発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	
	トマトサ ビダニ		少発	平年：並み 前年：並み	

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キ ク	白さび病		少発	平年：やや多 前年：並	1)羅病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする。 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	オオタバ コガ		中発	平年：やや多 前年：多	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ミカンキ イロアザ ミウマ		少発	平年：並み 前年：多	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハダニ類		少発	平年：並み 前年：多	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。